



作物を収穫する喜びは大きく、家族と一緒に働くことができるのも魅力のひとつです。上川管内では、水田、畑作、野菜、果樹、酪農など様々な農業がバランス良く展開されており、北海道を代表する大農業地帯のひとつで、近年は「スマート農業」といわれる人工衛星を利用した機械の運転補助など、新しい技術が取り入れられています。

富良野市

有限会社藤井牧場
生産部搾乳課

岩井かなでさん

2017(平成29)年入社

voice
02

搾乳を担当する岩井さんのお休みはシフト制で4週6休。



仲間と共に、

▶もともとは、ネイチャーガイドなど自然のなかで動物に関わる職種を考え動物専門学校へ進学した岩井さん。「開拓者たれ」の理念に共感する仲間と共に、次世代の酪農を目指しています。

次世代の酪農へ

Q 酪農の道を選んだ理由を教えてください。

専門学校在学中、牛好きの友人がいたこと、また、私自身牛乳が好きだったこともあり、牛乳の生産方法や牛そのものに興味を持つようになり、酪農関係のゼミを選択しました。就職活動の一環として動物関係の職場研修が必須でしたが、当時の私は希望する職種を決めきれず、「興味のある業種は実際に体験してみよう」と考え、研修先のひとつとして酪農牧場にも行くことにしました。「どうせ行くなら本場の北海道」と考え、ドラマ「北の国から」で富良野の風景がきれいだったという理由からインターネットで富良野市の酪農場を検索し、藤井牧場に出会いました。

Q 藤井牧場へ就職を決めた理由を、教えてください。

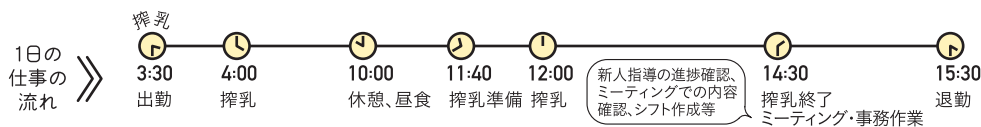
2週間の研修中、搾乳・哺乳・繁殖・診療・牛追い・砂(牛床)など、牧場内のほぼすべての業務体験をさせていただきました。研修期間が「北海へそ祭り」と重なっていたことから、移動販売車でソフトクリームの売り子も体験できました。初めて実家を離れ、見知らぬ土地で2週間過ごすなか、多くの方と関わらせていただき、藤井牧場で働く人たちの優しさに触れ、「この牧場の人たちと一緒に働きたい」と思いました。それと同じくらい、乳牛が好きになっていました。

Q 酪農業のやりがいを教えてください。

酪農業は、搾乳・繁殖・哺乳・診療・餌・牛床管理・畑作など多くの作業があり、その集大成を「生乳」としてお客様へお届けします。一つひとつの仕事すべてが奥深くつながっているため、その「つながり」を学び理解する必要があります。理解するために学ぶことが多く時間もかかる仕事ですが、「できること」「分かること」が増えるたび、自分の世界も広がり、とても楽しくうれしいです。心を込めて生産する生乳や商品を、「おいしい」と言っていただくことが一番のやりがいです。

Q 高校2年生の皆さんへ、メッセージをお願いします。

私は今、搾乳課の新入社員教育を担当しており、若い方と共に成長し学び続けています。酪農は知識・技術・体力が必要な仕事ですが、先輩から教わり、自学し、体の使い方を覚えると慣れてきます。体力に自信のない小柄な私でも、6年続けることができています。一番大切なのは、「牛に興味がある」「酪農の仕事をやりたい」という気持ちです。



繁忙期
夏～秋▶生乳最需要期は牛の管理が特に重要になることから管理業務(事務)に追われることもあります。



※令和4年(2022年)11月現在の内容です。